



“さくらの会”便り

発行責任者	山本 静子
会長	山本 静子
編集責任者	
事務局長	上原 栄
Tel.	0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

第18回



22名の参加で開催



第18回定期総会が4月17日（日）市民交流プラザふくちやまにて22名（会場21名、オンライン参加1名）が参加し、開催されました。

総会は、事務局の進行で、山本静子会長の挨拶後、福知山市障害者福祉課 課長の西山よう子様の来賓の挨拶を受け、令和3年度の活動報告、会計報告、会計監査報告が承認されました。

また、令和4年度の活動計画（案）、予算（案）が事務局から提案され、満場一致で可決されました。

4年度の役員は全役員留任で承認されました。（役員名簿は4ページ）

総会後は

総会後、綾部市立病院作業療法士古川絵美様の進行で、当事者と家族等の2つのグループに分けて交流会を開催しました。

また、①近況報告、最近の出来事 ②今の生活について、うまくいっていること・うまくいっていないこと 等のアンケートも実施しました。

山本会長の挨拶



桜の花もあっという間に散り、葉桜になり若葉の季節となりました。

久しぶりに対面での総会ができ、たくさ



んの方に参加していただきありがとうございました。

コロナ禍の影響で講演会やサロンが中止になり、私達の会の目的である「リラックスでき、はげましあって、勇気をあたえるところ」の機能を果たすのがむづかしいところですが、今年こそ、交流の場が作れる事を願っています。

福知山市から挨拶

福知山市を代表して来賓の障害者福祉課長西山よう子様から挨拶を受けました。

「日ごろより福知山市の福祉行政の推進に御理解、御協力をいただきありがとうございます。コロナ禍で、会員の皆様の交流の機会が減り、「話したい・知りたい・理解し合いたい」といったお気持ちが益々強くなっておられることと存じます。

今後も、高次脳機能障害のある方の理解や支援の充実に向け、皆様と共に取組を進（次ページへ）

(前ページから)

めていきたいと思います。さくらの会の益々の御発展と、会員皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたします。」

参加者の声 元気をもらいました

K・T 様

元気そうな皆さんに出会って、元気をもらいました。

同じ車イスの西村さんは、他人事でなくちょっと心配ですね。(西村さんは、奥さんが手術で入院のため、介護者不在のため、入院中)



これからも前向きに

S・S様

久しぶりの対面での交流会参加でした。個々にいろいろなお話が出来て良かったです。

いつもながら、たくさんの刺激を受け、もっと前向きに取り組まなきゃと思います。

職場では、理解がされているようでされていない現状があり、もがき苦しんでいます。また、さまざまなご意見、アドバイスを求めて参加したいと思います。

刺激を受けました

Y・S様

昨年度は、オンラインでの交流がスムーズにできるようになりましたが、やはり、直接会うと思いがけない話の展開になったりお隣になった田中さんのお話を聞けたり、刺激をいただきました。

改めて会の規約を読みますと目的の一人で悩まず…という文言には心が支えられる気持ちになりました。今後も宜しくお願いします。

参加者の声

たくさんの話で

R・T様

先日はお世話になり、ありがとうございました。

限られた時間内ではありましたが、

オンラインより沢山のお話を聞くことが出来て良かったです。



会えてよかった

H・T様

皆さんのお顔を見ながら話をしたり、聞いたり出来て良かった。



何を話したかは忘れましたが

気持ちの熱量が上がった

T・M様

久しぶりに対面での《総会・交流会》に参加させて頂き、ありがとうございました。

やはり、対面で生の声を聴いたり伝えたりする事がとても重要な事である事を改めて実感させて頂きました。

当事者の方々の伝えたい気持ちの熱量が予想以上に大きかった事に驚きました。

私の気持ちの熱量も上がりました。



今年度は、対面での事業が実施出来る事を願っています、ありがとうございました。

又、会える日を楽しみにしています。

一人で悩まないように

久しぶりに皆様にお会いできて大変嬉しかったです。コロナ禍でもオンラインで交流し続けたからこそ、対面でお会いできた時には何倍も感動しました。皆様の近況や思いをお聞きでき、それぞれ皆様、色んな思いを抱えながら毎日を一生懸命生きておられるというのを肌で感じることができました。これからも、この会で嬉しいことや辛いこと、悲しいことを吐き出してください。どうかお一人で悩まないようにしてください。またお会いできる日を楽しみにしております！

そして、交流会で皆様にお勧めしたい本を紹介するのを忘れておりましたので、ここで紹介させていただきます。

古川絵美

[「脳コワさん」支援ガイド](#) (鈴木大介著 医学書院)



社会派ライター of 著者、鈴木大介さんは、41歳の時に右脳に発症した脳梗塞により、高次脳機能障害を抱えることになりました。本書は、脳梗塞発症後からの著者自身の障害認識を言語化したものです。病名ではなく困りごとに着目することで援助職と当事者とが協力して問題解決する道筋を提案し、支える側と支えられる側との相互理解を深めることの一冊だと思えます。

著者の鈴木さんは、「自分と同じ障害を抱える方々の中には、脳卒中などの既往歴があるにもかかわらず未診断の方や長年支援がないまま苦しむ方、その結果うつ病などの二次障害を発症し社会的孤立する方が多くいる。このような脳機能障害全般の当事者の苦しさ、すなわち『見えない障害』を代弁したいと思った」と執筆に至る経緯を語られています。この本は当事者・対人援助職の垣根を超え、チームプレイとして障害や疾患と向き合っていくのに、必ず役立つ一冊だと思えます。

中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」

令和4年度 役員等名簿 (案)

令和4年4月17日

会 長	山本 静子
副会長	栗野 勝彦
世話役（綾部）	高倉 涼子
世話役（福知山）	坂本 智
世話役（丹後）	西垣 実樹
世話役（丹後）	山添 敦子
世話役（南丹）	水谷 千里

※脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション
京都実行委員会 担当

高橋 宏

顧 問 田中 明

【支援会員】

事務局長	上原 榮
世話役・会計	吉岡早映子
世話役・会計 (助成金等)	上原 保子
世話役（舞鶴）	大槻 節子
世話役（丹後）	野村 俊彰
世話役（便り担当）	藤原 勲
世話役 (行事等の支援)	黒木 広宣
世話役・会計監査	柴田 直美
世話役・会計監査	片尾 収作